2024年3 月1 日

公益社団法人MORIUMIUS

令和6年度 事業計画書

基本方針

東北のこどもたちの未来を、こどもたち自身の手で描ける日まで。

令和6年度は自然災害により厳しい環境にいるこどもたちに、豊かな教育を提供する為に石巻市雄勝町の方々と、地元の資源を活用した学びの場を創造し、新しいまちづくりを目指していきます。雄勝の山と海が繋がる美しい自然をフィールドに、地域がこども達を教育する機会をより多くつくり、外部と交流が出来る場があれば、こども達が見る未来の風景は変わり、自ら考え行動する力を身につけて、逞しく生きてゆくはず。

令和6年度は活動拠点として活用している築100年となる旧桑浜小学校を改築したMORIUMIUS及び同敷地内に増設したMORIUMIUSアネックスに地域のこども達や県外、海外からのこども達、企業の研修、ボランティアを継続して受け入れ、教育を通じた地元の心のサポート、雇用・経済の刺激、交流人口の拡大を推進する事業として展開。対象は雄勝、石巻のこども達のみならず、都市部のこども達、そして世界中のこども達が訪れ交流し学びあう場として展開。震災から13年が過ぎた現地で「支援」というスタンスではなく、自然の資源、暮らしの知恵を学びとして届け雄勝の町を元気にしてゆくことで町が復興し、こども達が未来に継承してくれる事を目指して活動します。同時にこども達の学びと地域の復興をさらに深める為に全国で実施されている山村留学を受け入れる体制を用意する為に、MORIUMIUS内に増築した施設を漁村留学の宿舎として全国から長期間雄勝町に滞在して地元の小中学校の存続にも貢献する拠点にもする。さらには日本財団と連携し、全国の貧困家庭のこども達へ学びの機会をつくり、それぞれが食環境を充実させ、自立に近づける取り組みを目指す。

また、石巻市の雄勝体育施設を指定管理者として引き続き運営。特に海洋教育の拠点として、地元のこどもをはじめ県外からのこどもや大人に雄勝町の海にこぎ出て、森と海のつながりを感じる機会をつくる。併設する運動場と体育館も地域の集合拠点として維持管理をしてゆく予定。

さらに東日本大震災後に地元住民により立ち上がったコミュニティガーデンが石巻市の協力により拡張していく町づくりにも積極的に関わることで町の復興やこども達の学び場を深めることにも貢献していきます。

事業内容

１．モリウミアス事業

１）被災地のこどもたちの体験学習と地元雇用の創出のため自然学校を運営

２）漁業・農業・林業・自然体験、料理体験、IT 体験、ものづくり体験、アートの体験などを実施
３）被災地外からの体験学習受入（家族や学校、企業等）
４）地域コミュニティーの円滑化を目的としたイベント開催
５）町のPR・観光につながる事業推進
６）県外からの山村留学生受入

２．学習支援事業
１）学校の放課後や長期休暇期間、支援申し入れのある学校内にて基礎学力向上や進学指導
２）学生ボランティアや地元講師による自発的なスクールを運営
３）地元の学校との総合学習での連携

３.石巻市からの雄勝体育施設指定管理業務及びそれに伴う自主事業
１）雄勝地域におけるスポーツ、社会体育等の普及を図り、市民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するための施設の運営を受託
２）自主事業を通じた森と海のつながりを体感できる拠点としての運営
３）地域の集合拠点となるような施設運営

活動地域
宮城県石巻市雄勝町、河北町、北上町を中心とした石巻市内
町のPR・観光につながる事業推進については東京などの都市部にて行う。

対象者
石巻市の小中学生約1,200名及び国内外のこどもとその親、大学や企業約600名。講師としては漁業、農業、林業従事者や硯職人、塾講師などを採用し雇用を促進する。